

「聞く力」をつけよう！

近年、国語では、話す・聞く・書くという「伝える力」が重視されている。
ここでは、「聞く力」を身につけよう！

「聞く力」って？

近ごろ、世の中にはたくさんの方が情報があふれておるなあ。その中から、自分にとって必要なことだけを聞き出して、しっかりとつかまねばならぬから、「聞く」というのは意外と大事なことなんじゃ。入試で、聞き取り問題を出題する県もあるぞ。

(十五年度は、青森・島根・山口・沖縄・佐賀後期の五県)
ここで、しっかりと「聞く力」を身につけて、聞き上手になるのじゃ！



聞き上手になるには

1. 「意識して聞くこと」に慣れる

「聞く力」というとなんだか難しそうだが、要するに、相手の話を聞いて、自分が知りたいうことをしっかりとつかめたいわけだ。

ふだんの家族や友人との会話では、相手の話を聞いて理解し、それに対して答えたり、質問したりしているはず。だから、下の聞き取りポイントをちよつと意識すれば大丈夫。聞き取る練習をするには、ラジオのニュースを聞き取るのが効果的だ。

2. メモをとる

聞き上手になるには、要領よくメモをとることが重要だ。上手にメモをとれたら、質問したり、内容を深めたりしやすくなる。聞き取りポイントを中心に、メモをとるとよい。

聞き取りポイント 「話のテーマ(話題)」「いつ・どこで・だれが・何を・どうする」「理由」「数字」「結論(まとめ)」など。

実際に、音声を聞きながらメモをとる練習をしてみよう！

メモの例

バス旅行について

・日時……………五月十五日()五月()日

・行き先……………朝日山

・集合時間……………五月十五日午前()時

・集合場所……………学校の()

・持ち物……………着替え・タオル()枚・()

水筒・雨具・「バス旅行のしおり」

・注意事項……………歩きやすい()をはくこと

